

会議記録

会 議 名		令和５年度（２０２３年度）第３回八王子市博物館協議会
開 催 日 時		令和６年（２０２４年）２月９日（金）午後６時００分～午後７時２５分
開 催 場 所		コニカミノルタサイエンスドーム（八王子市こども科学館）２階・講座室
出席者	委 員	大畑静佳、大森映子、長田晶、鎌倉佐保、菊池由紀子、國方則和、進藤哲央、馬場憲一、山中将一（敬称略・５０音順）
	事 務 局	叶清文化財課長兼郷土資料館長、飯塚由則こども科学館長、岡部雅洋文化財課課長補佐兼主査、鈴木正生文化財課課長補佐兼主査、高野淳文化財課課長補佐兼主査、石田勇次こども科学館主査、森融こども科学館主任
欠 席 者		（委 員）深澤靖幸 （事務局）なし
議 題		(1) 令和５年度（２０２３年度）八王子市こども科学館及び郷土資料館事業（４～１２月期）実施状況について (2) その他
公開・非公開の別		公開
傍 聴 人 の 数		０名
配 付 資 料 等		１.会議次第 ２.【資料１】令和５年度（２０２３年度）こども科学館事業（４～８月期）実施状況 ３.【資料２】令和５年度（２０２３年度）郷土資料館事業（４～８月期）実施状況 ４.その他（刊行物・チラシ類）

会 議 の 内 容 (要 点 記 録)	【開会】 (事務局職員による開会の宣言・挨拶等) 事務局 会議の議長は、八王子市博物館協会条例第5条第1項の規定により会長と定められておりますので、鎌倉会長に進行をお願いします。 鎌倉会長 本日の会議には10名の委員のうち、9名が出席しておりますので、八王子市博物館協議会条例第5条第2項の規定により会議は成立しております。 【議題】 1. 令和5年度(2023年度)八王子市こども科学館及び郷土資料館事業(4～12月期)実施状況について 鎌倉会長 まず議題(1)について、事務局から説明願います。 — 事務局職員による説明 — 鎌倉会長 説明が終わりました。確認やご質問をお願いします。 大畑委員 郷土資料館とこども科学館、それぞれ職場体験の内容について、自分が中学生の頃こども科学館は選択肢になかったと思うが、今の中学生はどういった体験ができるのか。 事務局 プラネタリウムの設備、機器の状態や、プラネタリウムをどのように投影しているかや、バックヤードや展示物なども見ていただいています。 事務局 今はコニカミノルタさんが行っている職場体験に協力し、1日だけ当館の内容を解説するというようなことをやっています。展示物を説明したり、今回はプラネタリウムの操作も体験でやってもらいました。以前は工作の準備なども3日くらいやってもらっていましたが、コロナを機に長い職場体験はなくなりまして、コニカミノルタさんの職場体験ということで受け入れました。 大畑委員 企業連携にもなっているんですね。私も中学生の時に経験したかったです。 事務局 郷土資料館では、はちあくで学芸員と一緒に展示の解説などの対応を見ていただいたり、配付資料の準備を手伝っていただいたりしています。また、収蔵資料の整理として資料の写真を撮ったり寸法を測って記録する業務を手伝っていただいたりもして、中学生のうちから博物館の仕事を知って、将来は学芸員になってもらえたらという思いで受け入れております。
----------------------------------	---

大畑委員	私も大学での博物館実習で同じようなことを経験しましたが、中学生でも同じように、両施設ともすごく良い体験ができることがわかりました。
進藤委員	こども科学館の１０月２８日の霧箱の観察だけ、大人の割合が非常に高い理由は何か。別のイベントがあったというわけではなく、たまたま大人が多く集まったということなのか。
事務局	恐らくそうだと思いますが、しっかりとした分析ができておらず申し訳ありません。
馬場委員	両館とも大人と子どもとをわけてカウントしているが、子どもは高校生も含まれるのか。
事務局	こども科学館では中学生までが子どもです。料金面でも高校生からが大人料金としております。
事務局	郷土資料館では高校生までを子どもとしております。
馬場委員	肥沼博士のお話ですが、こども科学館とどのような接点があり、どういった見せ方、教え方をしているのか。
事務局	肥沼博士はチフスで亡くなったということから、医学の面も含めてウイルスという観点で、肥沼博士の生涯を伝える紙芝居やクイズ形式で知ってもらおうということで取り組みました。
大森委員	郷土資料館の企画展「八王子と苦小牧」は非常に入館者数が多いですが、これをどう分析されたのか。他の企画展と比べて開催時期が長いということがあるのかもかもしれませんが、企画としての魅力や、開催状況から伺えるようなところがあつたとすれば、どのようなものか。
事務局	「八王子と苦小牧」は姉妹都市盟約締結５０周年記念ということで企画しましたが、市の学校給食で苦小牧にちなんだメニューを提供していることなども展示に含めたりしました。人数が多かった理由は深く分析できておりませんが、八王子まつりの関係で姉妹都市の議員団の方も来場され、大変喜んでいただきました。
事務局	昨年、苦小牧市と八王子市の姉妹都市盟約締結５０周年で、今年が日光市との締結５０周年ということで、今年を３姉妹都市全部の５０周年として売り出そうということですが、それをマスコミで取り上げていただき、いろんなＰＲができました。また、これに前後して苦小牧市の子どもたちが本市を訪れたこともまたマスコミが取り上げてくれましたので、その効果も大きかったのかもしれない。
大森委員	何かきっかけがあると、関心を持っていただける成果につながってくると思います。

馬場委員	企画展を開催する間隔、ローテーションはどうなっているのか。企画展と企画展の間、はちやくはシャットアウトしてしまうのか。
事務局	上野町の郷土資料館には、特別展示室という部屋があり、展示の準備で扉を閉めて1か月ぐらい前から準備していました。はちやくでは、構造上、部屋としてきちんと区切ることができなくて、苦肉の策でパーテーションを立てて開館中でも展示替えをやるのですが、その期間も5日間ぐらいで、一気に前の展示を片づけて新しい展示を入れてというのを、学芸員はかなり苦労してやっています。はちやくの真ん中あたりが企画展示ゾーンなのですが、その部分だけをパーテーションで区切って、周りの通常の展示は御覧いただけるようになっております。
馬場委員	企画展示はしていなくても、通常の部分は見られるということですね。御苦労されていることがわかりました。
國方副会長	こども科学館の資料の、宇宙の学校の人数は非常に分かりやすく分類していただいて、ありがとうございます。入館者推移のグラフは令和元年度と比較ができるようになっていて、10月が元年度は増えているのに対して、5年度はどんと落ちていますね。4年度も落ちているけれど、コロナ禍だった2年度と3年度も9月に比べるとちょっとだけ持ち上がっているように見える。そういう傾向がありそうだけど、5年度はどんと落ち込んでいて増えていないが、何か要因的なものがあるのならば、入館者数を増やすヒントになるのではないか。
事務局	大きな要因の一つとしては、以前は第2駐車場にレールを敷いて、実際に大型鉄道模型に乗るトーマスというイベントを毎年委託してやっていましたが、今年度は諸事情で中止になってしまったのが大きいと考えております。
國方副会長	それは当初は開催予定だったのに、だめになってしまったということなのか。
事務局	そうです。予算もあり実施予定でしたが、急遽相手方の諸事情でできなくなってしまいました。そのイベントは2日間でかなりのお客様を呼べるものでしたので、それが大きかったと思います。
國方副会長	来年度以降の見通しは。
事務局	来年度以降の実施のめどはたっていません。何か違うイベントを考えないといけない状況です。
長田委員	こども科学館の設備がだいぶ痛んでいると感じます。ダイヤルを回すタイプのものは、壁に差すピンが折れている

	ものが多く、また、中央部で人気のボールが転がってくるものを受ける道具も磁石が弱くなっていると思います。2階のISS体験機が動いていないときが目立ちます。そういったものの修理の予算は取っているのか。また、小学校高学年から中学生向けのスペースを増設する計画はありませんか。
事務局	こども科学館は平成29年度にリニューアルをしましたが、展示物でリニューアル前のものを使っているものもあり、徐々に修理をしなければいけない状態になっています。予算も増額の要求はしていますが厳しい状況です。ISSはここで修理することになりましたので、春休みまでには3か所とも使えるようになるかと思います。また、1階の展示物も、やはり使い方によって結構痛んでしまっているものもあり、予算の都合ですぐには対応できないところもありますが、財政当局に要求を継続していきます。
鎌倉会長 山中委員	メンテナンスは必要ですので、是非お願いします。 来年度はバス代の予算がついて、以前のようにこども科学館にほぼ全部の学校が来るので、来館者も増えるのではないかと。プラネタリウム以外のスペースも本当はリニューアルするといいのかなという気もしました。また、午前中にプラネタリウムを見て、遊んで、給食までに帰るというパターンが多いですが、せっかくバスを出してくれるならはちくもセットでうまく回れると良いのでは。うちの学校は12月に行きましたが、33人ぐらいで、あのスペースに1時間ぐらいがちょうどよくて、しかも午前中だったけれども貸切にしてください。そういうふうにしていくと、交通手段などを市で予算づけをすれば、市も郷土学習にすごく力を入れていて、その機運に乗ってくれば、はちくも新しいし、子どもってじっとしているものには興味がなくて、自分がさわれるもの、明治とか昭和の古い電話など、ああいう自分がさわれるし珍しいものだからといってすごく人気があった。ですので、こども科学館とはちくくのタイアップのようにして回れるようになるといいのかなと思いました。
事務局	私たちとしても、ぜひお越しいただきたいと思っています。ただ学校の授業の編成上、午前中だけで終わらないといったような都合があるかと思いますが、もしそうした事情が許せば、どちらが先でも構いません、お越しいただければと思います。よろしくお願いします。
馬場委員	今のお話で、予算はどこについているのか。

	事務局 校外学習を担当する教育委員会の学務課です。コロナ禍前であればバスを出して、プラネタリウムを見て、遊んでというのはありましたが、去年当たりから、学校側から「今年はその予算がないのか」と。やはりあれだけの迫力あるプラネタリウムを楽しみにしているようです。いくら大きなテレビの画面で見てもなかなか伝わらないし、授業で夜の星空といっても夜に集まるわけにもいかないので、大変貴重な機会だと思います。 馬場委員 学務課についている予算を各学校が使うことになる。対象は4年生ですね。 事務局 小学4年生のプラネタリウム学習番組観覧用のバス借上げはこども科学館に予算がついていまして、学校からの申請に基づいて、バス会社に依頼をしています。以前は学校教育部に予算がついていたこともあります。今年度、来年度ともこども科学館にてバスの予算を執行する予定です。 馬場委員 私は飯能市でもこのような協議会の委員をやっています。飯能市では博学連携という事業で博物館が予算を取っていて、小学3年生の郷土学習で、博物館がバスの手配などもする。そして先生が引率して博物館では市民学芸員という方が説明をする。今、はちはくは過渡期ですが、郷土資料館でもそのような予算付けをして、はちはくに誘導できるような仕組みができないか。ぜひ予算を取って実施してもらいたい。 事務局 ご意見として承ります。 鎌倉会長 予算については難しいかもしれませんが、両館が一緒に見学できる形がとれると良いと思います。 私からも一点、大学等との連携に関して、郷土資料館でも幾つかの調査を継続し、こども科学館も宇宙の学校で連携しながらやっているということです。そういう形でどうしても館内の人員だけで事業をやっていくのは難しいと思います。こういった大学との連携は、どこの自治体でも推進していて、大学のほうも教員が取ってこられる予算もあるので、展示などでも深く関わって共催という形を取るようなものもあると聞いています。多摩市も、聖蹟記念館での展示を都市大学との共催、そちらの予算を使った形でやるという話も伺っています。いろんな事業をやるには、どうしても学芸員のスタッフの皆さんの負担になってくるところはあるので、うまく連携して学生も参加させたりしながら、ぜひそうした連携を広げていただけたら
--	---

	良いと思いました。 2. その他 鎌倉会長 議題（２）その他として、事務局から何かありますか。 事務局 前回、國方副会長からご発言のあった件に関しご報告します。八王子市が中学生を対象に子どもの科学する心を育てることを目的として、中学生の科学に関する研究発表と、それを告知するポスター作成もやっています。それは６名の方が表彰を受けますが、表彰の後、その作品が活用されていないのではないか、子どもたちの励みにもなるので、いろいろな機会を通じてそれを知らしめてほしいというご意見を、國方副会長から頂戴しました。 確認したところ、全中学校をブロックごとに選定して、最終的に６名の方が表彰を受ける制度で、まず八王子駅南口総合事務所で２週間ほど作品を掲出し、皆さんに見てもらいます。その後、小学校、中学校合同で１月に行っている展示会、これは「おおり展」といいますが、そこでもその作品を掲出しています。この後３月２２日から２８日までの間、市役所本庁舎１階ロビーで展示をし、来庁者の方に見てもらおうということもやっています。 また、今年都立八王子東高校で研究会があつて、そこにこの作品の生徒さんが呼ばれていて、３月１６日、五つのグループで７名の中学生が発表するということで、いろいろと活用されていることが分かりました。場合によっては、例えば２月にこども科学館でということもあるでしょうし、子どもたちの励みになるようなＰＲができればと思っています。教育委員会の指導課からは、生涯学習スポーツ部でも広めてもらえるなら貸し出しもしますという話もあり、その点は考えさせていただきたいと思います。 國方副会長 非常に良い取組をしていただいていると思います。引き続き、よろしくお願いします。 鎌倉会長 他にも事務局から何かありますか。 — 事務局職員による配付物の説明 — 馬場委員 お願いなのですが、両館ともいろいろな取組をしていることがよくわかったけれど、多くの場合、終わった後に出てきて、こんなことをやっていたなと気づくわけです。できれば、企画展や講座などを含めた年間計画を事前に周知してもらいたいが、いかがでしょうか。
--	---

	事務局 年間の事業計画もちろんありますし、急にいろいろな事情で入ってくるような企画もありますけれど、できる限りこの場で、またはメールなどでも配信させていただき、御案内するように努めてまいります。 馬場委員 ぜひお願いします。他の博物館では年間スケジュールが出ていたりするが、はちくにはないのですか。 事務局 上野町の頃は年間計画を出していましたが、はちくではいろいろと事業が動くところがあって、出せていない状況ですけれども、なるべく事前にお知らせするような形で考えていきたいと思います。 馬場委員 そのたびにホームページを見てというよりも、例えば、施設に張っておいて周知するなど、ぜひよろしく願いいたします。 事務局 こども科学館では、年度末までに次年度の年間計画がきっちり決まるというのは難しくて、夏休みぐらいまでの予定は4月いっぱいぐらいにはおおむね決まりますが、後はいろいろなところに声をかけてイベントを一緒にやるということもあります。分かっている範囲でどういうことをやるのかを逐次お知らせし、ご報告したいと考えています。 鎌倉会長 ほかにはよろしいでしょうか。 — 発言者なし — 鎌倉会長 それでは、最後に次回の開催予定について、事務局からお願いします。 事務局 次回開催は、新年度5月下旬を予定しております。3月末を目途に日程調整をお願いいたします。 事務局 最後にご紹介します。長らくの郷土資料館、こども科学館両館の勤務を経て、普通の職員では成し得ないことをやってきた森主任ですが、ついにこの3月末で二度目の卒業式を迎えることになりました。森さん、ぜひ御挨拶を。 — 森主任挨拶 — 鎌倉会長 それでは、これをもちまして終了いたします。 【閉会】
--	---